

メジャー5社 2023年第2四半期決算 -資源価格下落も強靱なパフォーマンスを維持-

1. 今期の Brent 原油価格は、期中平均で 78.1ドル/バレルと、前期の 81.2ドル/バレルから 3.8%下落したほか、前年同期の期中平均である 113.9ドル/バレルと比較して 30%以上低い水準となった。また、天然ガス価格についても、米国 Henry Hub 価格は今期中平均で 2.1ドル/MMBtu(前期の 3.4ドル/MMBtu から 38%低下)となった。
2. 資源価格の高騰により例外的な高収益を記録した 2022 年第 3 四半期以降、原油及び天然ガス価格の下落がみられ、各社の収益を押し下げる要因となった。また、夏場の需要期を前に製油所の定期修繕を実施したり、上流生産設備のメンテナンスに伴い生産を停止したりといった事情により、季節要因から稼働率が低下した側面もあるとみられる。
3. こうした状況下、各社とも、前期に比べ純利益は減じたものの、配当と自社株買いの継続により、株主への還元を重視する姿勢は変わらない。Shell は前期と比べ 15%の増配となる 0.331ドル/株で配当を行うとともに、2023 年第 3 四半期中に追加で少なくとも 25 億ドルの自社株買いを実施する旨、発表。bp も、前期から 10%増となる 7.27 セント/株で配当を行うとともに、今期には 21 億ドルの自社株買いを実施した。TotalEnergies についても、2023 年第 2 回の中間配当について前年より 7.25%引き上げ、0.74 ユーロ/株とするほか、2023 年第 3 四半期に 20 億ドルの自社株買いを実施し、株主への還元を進めることを発表した。
4. 他方、事業戦略には違いが見られ、欧州系企業は中期的な石油・天然ガス追加埋蔵量及び生産量確保のため、既存資産の周辺における追加開発・生産事業への投資決定を積極的に行っている。他方米国系企業は、国内及びコアエリアを中心に投資を行う手堅い戦略を継続している印象である。その中でも TotalEnergies による Rio Grande LNG 開発への参画及び ExxonMobil による Denbury の買収など、各社の中心的な事業における大型の投資案件もみられた。
5. 国際通貨基金(IMF)が 7 月 25 日に最新の世界経済見通し(WEO)を公表し、2023 年の世界国内総生産(GDP)成長率予測を 4 月時点の 2.8%から 3.0%に上方修正した。こうした世界経済成長見通しを背景に、2023 年第 3 四半期以降の原油価格は、中国経済の回復、OPEC プラスによる減産措置及び一部加盟国の自主的な減産から、特に 2023 年後半にかけて需給引き締め感が醸成されると見られる。
6. また天然ガス需給については、2023 年も引き続き逼迫する見通しであり、世界の天然ガス需給バランスは広範囲にわたる夏の干ばつや熱波、2023/2024 年冬季の気温や寒波の襲来、そしてロシア産パイプラインガス供給のさらなる減少などの不確実性にさらされている。よって、資源価格に下支えされ、各社の次期四半期決算は今期と同様に推移する蓋然性が高いと考えられる。

1. ExxonMobil

2023年第2四半期の決算は、コスト削減や効率改善により94億ドルの高い事業キャッシュフローを維持したが、純利益は前期比114億ドルから減少し79億ドルであった。主な減益理由は天然ガス価格の低下と製油所の精製マージンの減少である。

引き続きExxonMobilは株主還元策の拡大や組織構造の改善を図っている。配当水準(第3四半期配当金0.91ドル/株)は据え置いたが、2023年第2四半期は配当額37億ドル、また自社株買いは2023年計画の上限175億ドルのうち43億ドルを実施し合計80億ドルを株主還元に充当した。今期も2023年第1四半期並みの高水準の株主還元を実施した。経営面では、組織構造のスリム化等によりコスト削減を実施し2023年は2019年比で90億ドルの削減目標のうちすでに累計83億ドルの削減を達成したと発表。また新たにGlobal Business Solutions、ExxonMobil Supply Chain及びGlobal Tradingが新スタートを切り、効率改善に向け大規模な統合ビジネスモデルをさらに強化していく意向を示した。

2023年上半期の設備投資は125億ドル、通年230~250億ドルの年次計画に沿った水準に達し、また2022年の上半期の95億ドルに比べても3割高い水準であった。

上流部門に関しては、2023年第2四半期の利益額は46億ドル、前期の同65億ドルからは19億ドルの減益であった。主に、石油・天然ガス価格が40%下落したこと、不需要期でもありメンテナンスシーズンでもあったことが響いた。原油及び天然ガス価格が高騰していた1年前の2022年第2四半期の営業利益114億ドルと比較すると今期は大幅減となった。

2023年第2四半期の石油換算生産量は日量360.6万バレルで1年前の前年同期に比べて12.4万バレルの減少である。米国Permianの生産量と南米ガイアナの生産量は前年同期比から20%増産したが、ロシアのサハリン1撤退、資産売却や産油政府による減産履行による生産減少が響いた。

2023年第2四半期の業績としては、ガイアナの油田開発において127億ドルの第5次拡張計画のUaru事業の最終投資決定を行った¹。これにより日量26万バレルの追加能力となり、最終的に2027年末までにガイアナの生産能力は日量120万バレルまで引き上げられる見通しである。

また、インフレ等によって高い収益を上げてきた下流部門(Energy Products部門)に関しては、今期利益は、2022年第2四半期の純利益53億ドルの5割以下の23億ドル。変動要因は、拡張した米国テキサス州のBeaumont製油所の精製能力(日量63万バレル)がフル稼働に達し同社の石油製品の生産量は過去15年最大の日量417万バレルまでに達したものの、ロシアからの供給懸念が後退したことによりディーゼルの精製マージンが縮小したことが背景にある。また新規事業として、増加する需要に応えるためインド西部のマハーラーシュトラ州(州都ムンバイ)Raigadでの潤滑油の生産計画について改めて明らかにし、年間16万キロリットルの生産能力規模で2025年末の操業開始を見込む²。

最近の低炭素化ビジネスについては、CCSの事業化に向け大きな進展がみられた。まず、

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

ExxonMobil は、EOR 事業及び CO2 管理を専門とする米国企業 Denbury を全株式取得により買収することで合意したと発表した³。買収額は 49 億ドル。Denbury は、石油・ガス資産の取得のみならず、脱炭素ソリューションの事業化に有益な全長 1,300 キロメートルのパイプラインネットワークを有する国内最大の CO2 パイプライン保有者であり、そのほとんどを排出源が集中するメキシコ湾岸地域に所有し操業する事業者である。買収により、ExxonMobil は 10 か所の CCS 拠点を得るとともに、CO2 輸送及び貯留に関する知見を獲得することが期待できる。ExxonMobil の発表によれば、Denbury のアセットや知見を統合していくことで、自社が進める CCS、水素、アンモニア、バイオ燃料、DAC (直接空気回収) を含めたバリューチェーンの構築を一層促進させると説明している。さらに ExxonMobil は、北米最大の鉄鋼メーカーの Nucor Corporation との間で、Nucor が所有するルイジアナ州の Convent 製鉄所から排出される年間 80 万トンの CO2 を回収、輸送及び貯蔵を行う長期契約を締結したと発表した⁴。本事業は 2026 年開始を予定している。すでに ExxonMobil は、肥料メーカー CF Industries と産業用ガス会社 Linde と間でそれぞれ CCS に関する同様の契約を締結しており、本件は 3 件目となる。これらをあわせて年間 500 万トンの CO2 輸送及び貯留サービスを第 3 者に提供する。

表 1: 2023 年第 2 四半期決算概要 (ExxonMobil)

	(決算期)	2021	2022	2021Q1	2021Q2	2021Q3	2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3	2022Q4	2023Q1	2023Q2
生産量													
石油	MMbbl/d	2,289	2,354	2,258	2,200	2,313	2,385	2,266	2,298	2,389	2,461	2,495	2,353
天然ガス	MMcf/d	8,537	8,295	9,173	8,294	8,110	8,584	8,452	8,606	7,963	8,167	8,016	7,529
合計	MMboe/d	3,712	3,737	3,787	3,582	3,665	3,816	3,675	3,732	3,716	3,822	3,831	3,608
LNG 液化量													
LNG 液化量	百万トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油精製量	千 b/d	3,945	4,030	3,751	3,858	4,051	4,118	3,983	3,988	4,165	3,983	3,998	4,173
製油所能力	千 b/d	4,567	4,582	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千 b/d	5,162	5,347	4,881	5,041	5,327	5,391	5,158	5,537	5,211	5,423	5,277	5,659
損益計算書													
売上高	百万ドル	285,640	398,675	57,552	65,943	71,892	81,305	87,734	111,265	106,512	93,164	83,644	80,795
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	23,040	55,740	2,730	4,690	6,750	8,870	5,480	17,850	19,660	12,750	11,430	7,880
貸借対照表													
流動資産	百万ドル	59,154	97,631	48,195	52,842	55,555	59,154	77,255	93,163	99,289	97,631	97,224	91,760
固定資産	百万ドル	279,769	271,436	285,575	284,447	281,133	279,769	277,516	274,611	270,863	271,436	272,147	271,488
総資産	百万ドル	338,923	369,067	333,770	337,289	336,688	338,923	354,771	367,774	370,152	369,067	369,371	363,248
流動負債	百万ドル	56,643	69,045	60,150	62,238	61,856	56,643	72,059	80,110	74,057	69,045	66,666	61,815
固定負債	百万ドル	113,703	104,973	116,646	116,480	114,243	113,703	113,497	110,348	109,995	104,973	104,020	37,567
有利子負債	百万ドル	47,704	41,193	63,322	60,612	56,605	47,704	47,537	46,883	45,428	41,193	41,446	41,496
純資産	百万ドル	168,577	195,049	156,974	158,571	160,589	168,577	169,215	177,316	186,100	195,049	198,685	199,046
キャッシュフロー													
事業 CF	百万ドル	48,129	76,797	9,264	9,650	12,091	17,124	14,788	19,963	24,425	17,621	16,341	9,383
設備投資	百万ドル	16,595	22,704	3,133	3,803	3,851	5,808	4,904	4,609	5,728	7,463	6,380	6,166
フリー CF	百万ドル	32,029	63,210	5,400	6,986	9,092	9,747	10,722	19,188	20,964	12,336	10,675	7,036
時価総額	百万ドル	259,054	359,543	236,358	267,053	249,018	259,054	347,952	380,070	359,543	449,030	443,354	429,342
従業員数	人	63,000	62,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所: 決算資料及び EvaluateEnergy に基づき JOGMEC 作成

2. Shell

2023 年第 2 四半期は、前期に対して原油及び天然ガス価格が下落したほか、精製マージンの低下、LNG 生産量及びトレーディング実績も低調であったことから、当期純利益は前期及び前年同期を下回る結果となった。他方、製品マーケティングのマージンが、輸送部門向け需要の回復と季節要因にも支えられ堅調に推移したことで、決算を下支えした。今期の事業キャッシュフローは 151 億ドル、純利益は 31

Global Disclaimer (免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構（以下「機構」）が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright (C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

億ドルを達成し(2023年第1四半期は、事業キャッシュフロー142億ドル、純利益87億ドル)、フリーキャッシュフローは78億ドルとなった。ワエル・サワン CEO は、「コモディティ価格が低調な環境ながら、Shell は強力なパフォーマンスとキャッシュフローを第2四半期に実現した」とプレスリリースで述べ、今期は前期と比べ15%の増配となる0.331ドル/株(前期は0.2875ドル/株)で配当を行うとともに、2023年第3四半期中に追加で少なくとも25億ドル、2023年下半年期では少なくとも50億ドルの自社株買いを実施する旨、発表した⁵。

今期の石油換算生産量は日量273.1万バレルとなり、前期(日量290.2万バレル)比5.9%程度の減少となった。主な要因としては、定期修繕による生産減少のほか、ダイベストメントの影響が挙げられている。

主要な石油・天然ガス関連事業の進捗としては、4月18日に英領北海のPierce油ガス田における大規模改修を終え、原油のみならず天然ガスの生産が可能となったと発表⁶。Shell はPierce油ガス田の92.52%権益を保有するオペレーターであり、Ithaca Energy(UK)が7.48%を保有する。同油ガス田はアバディーン沖合約265キロメートル、水深約85メートルに位置し、1975年の発見後1999年から原油の生産を開始している。今般の大規模改修により、新たに天然ガス輸出用のサブシーパイプラインを敷設し、SEGALパイプラインシステムに接続、セントファークスから陸揚げが可能となった。

Shell は6月14日に新たな事業戦略を発表し、温室効果ガス排出を抑制しつつ、株主に対する還元を強化する方針を明らかにした。事業パフォーマンス、財務規律、簡素化を重点的に強化することで、営業キャッシュフローの30%から40%を株主に還元するほか、2050年までの実質ゼロ排出を含む気候目標へのコミットメントを再確認し、トランジションエネルギーである天然ガス・LNG事業においてリーダーシップを発揮するとしている。また、上流事業全般における有利な立場を拡大し、液体燃料生産量を2030年まで安定させることで、キャッシュフローを長期的・安定的に確保することを目指す方針を明確にした。排出抑制については、2030年までにメタン排出をほぼゼロとするほか、2025年までに上流事業における日常的なフレアリングを削減することを目指している。また、バイオ燃料、水素、電気自動車の充電設備、CCSなどの低炭素エネルギーソリューションの開発を推進するため、2023年から2025年にかけて100億ドルから150億ドルを投資する計画を発表している⁷。

(鏝田)

表 2:2023 年第 2 四半期決算概要(Shell)

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

	(決算期)	2021	2022	2021Q1	2021Q2	2021Q3	2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3	2022Q4	2023Q1	2023Q2
生産量													
石油	Mbbl/d	1,738	1,506	1,809	1,775	1,713	1,663	1,564	1,507	1,449	1,508	1,539	1,470
天然ガス	MMcf/d	8,687	7,872	9,747	8,584	7,863	8,576	8,110	8,070	7,640	7,674	7,903	7,320
合計	MBoe/d	3,236	2,864	3,489	3,255	3,069	3,142	2,962	2,899	2,766	2,830	2,902	2,731
LNG液化量													
	百万トン	30.98	29.68	8.2	7.5	7.4	7.9	8.0	7.7	7.2	6.8	7.2	7.2
石油精製量	千b/d	1,639	1,402	1,751	1,833	1,629	1,348	1,397	1,342	1,629	1,434	1,413	1,335
製油所能力	千b/d	2,149	1,698	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	4,459	4,203	4,164	4,552	4,665	4,451	3,970	4,111	4,384	4,343	4,152	4,073
損益計算書													
	百万ドル												
売上高	百万ドル	261,504	381,314	55,665	60,515	60,044	85,280	84,204	100,059	95,749	101,303	86,959	74,578
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	20,101	42,309	5,660	3,428	-447	11,461	7,116	18,040	6,743	10,409	8,709	3,134
貸借対照表													
	百万ドル												
流動資産	百万ドル	128,766	165,937	99,559	111,682	131,570	128,765	152,021	165,224	163,318	165,937	150,573	140,486
固定資産	百万ドル	275,614	277,087	285,841	286,175	277,199	275,614	272,966	282,674	274,040	277,087	278,581	274,547
総資産	百万ドル	404,380	443,024	385,400	397,857	408,769	404,380	424,987	447,898	437,358	443,024	429,154	415,033
流動負債	百万ドル	95,547	121,311	76,431	84,502	104,230	95,547	113,298	118,678	118,673	121,311	102,677	96,129
固定負債	百万ドル	136,867	131,243	145,255	145,356	141,149	133,506	132,156	134,922	128,448	131,243	133,160	128,443
有利子負債	百万ドル	80,126	83,795	74,192	71,736	67,422	89,086	59,232	56,709	55,430	83,795	57,345	56,779
純資産	百万ドル	157,168	190,470	163,714	167,999	163,390	171,965	175,998	190,500	186,522	190,470	193,317	190,461
キャッシュフロー													
	百万ドル												
事業CF	百万ドル	45,105	68,413	8,294	12,617	16,025	8,170	14,815	18,655	12,539	22,404	14,159	15,130
設備投資	百万ドル	19,698	24,833	3,975	4,383	4,840	6,500	5,064	7,024	5,426	7,319	6,501	5,130
フリーCF	百万ドル	37,291	56,943	8,367	10,187	12,640	6,096	17,364	15,854	13,540	10,188	11,432	7,847
	百万ドル												
時価総額	百万ドル	168,051	196,485	153,974	158,058	175,546	168,051	216,195	381,746	176,043	196,485	195,538	199,220
従業員数	人	82,000	93,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:決算資料及び EvaluateEnergy に基づき JOGMEC 作成

3. bp

2023 年第 2 四半期において、bp は 63 億ドルの事業キャッシュフローを創出した(前期の 76 億ドルから減少)。純利益については、82 億ドルとなった前期を下回る 18 億ドルの黒字を記録(アンダーライニング・リプレースメント・コスト利益では、26 億ドルと前期(50 億ドル)を下回った)。2023 年第 1 四半期に比べ、原油及び天然ガス価格が下落したほか、精製マージンが前期に比べ大幅に縮小、定期修繕の影響、トレーディング部門も低調であったことが、今期の決算につながった。こうした四半期決算状況のなか、同社は前期(6.61 セント/株)から 10%増となる 7.27 セント/株で配当を行うとともに、今期には 21 億ドルの自社株買いを実施した。同社は引き続き配当による株主還元を最重要点としており、Brent 価格で 40 ドル/バレル、ヘンリーハブのガス価格で 3 ドル/百万 Btu を損益分岐点とする優良資産によりこれを支えるほか、2023 年を通じて余剰キャッシュフローの 40%をバランスシートの健全化に充てる方針を継続するとしている。また、追加で 15 億ドルの自社株買いによる株主還元を実施する旨も併せて発表した。

8。
今期の石油換算生産量は日量 227.2 万バレルとなり、前期の日量 232.9 万バレルと比べ 2.4%程度の減少となった。2023 年においては、米国メキシコ湾の中核事業である Mad Dog Phase 2 の中核である Argos プラットフォームからの生産開始、インド沖の KGD6-MJ 事業の最終的なコミショニング作業を上半期に完了しているほか、下半期には Tanguh LNG 拡張施設の立ち上げを含む複数事業からの生

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

産開始が予定されており、今後同社の石油換算生産量は増加傾向となるとみられる。

最近の石油天然ガス関連事業の進捗としては、米国メキシコ湾で同社5基目となる **Argos** プラットフォームから原油生産を開始したと発表した⁹。半潜水式の同プラットフォームは日量最大 14 万バレルの生産能力を有し、米国メキシコ湾における **bp** の生産能力を 20%向上させる見込みであり、2023 年中に段階的に生産量を増加させる予定である。同プラットフォームは、1998 年に発見され生産中の巨大油田である **Mad Dog** の第2フェーズとして開発が進められてきたものであり、同油田の操業延長に寄与することが期待される。また、6月30日にはインド東部沖合の大水深である **KG D6** 鉱区からの生産開始を発表¹⁰。同鉱区はインド企業の **Reliance** が 66.67%の権益を保有するオペレーターとして開発を進めており、**bp** は 33.33%の権益を有する。同鉱区内では、3つのクラスターに分けて段階的に生産を開始しており、2020年12月から **R-Cluster**、2021年4月から **Satellite Cluster**、そして今般 **MJ Field** からの生産が開始され、ピーク時には日量 3,000 万立方メートル(10 億立方フィート)の天然ガス生産が期待されており、今日のインド国内ガス生産のおよそ 3 分の 1 を占めるとみられる。

電力事業においては、6月28日に電気自動車向け充電サービス事業者でベルリンに拠点を置く **Service4Charger** に対し、750 万ユーロの投資を行ったと発表¹¹。これは **Service4Charger** 社によるドイツ、オーストリア及びスイスにおける事業展開に向けた 1,000 万ユーロの資金獲得の一環であり、**bp** は同社への出資により、信頼の高い充電サービス事業に関する知見を蓄積することを目指している。

(鑑田)

表 3:2023 年第 2 四半期決算概要(bp)

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

	(決算期)	2021	2022	2021Q1	2021Q2	2021Q3	2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3	2022Q4	2023Q1	2023Q2
生産量													
石油	MBbl/d	1,951	1,216	1,936	1,905	1,960	2,005	1,653	1,047	1,076	1,087	1,119	1,103
天然ガス	MMcf/d	7,915	7,105	7,727	7,600	7,899	8,427	7,824	6,673	7,086	6,833	7,022	6,781
合計	MBoe/d	3,317	2,442	3,268	3,215	3,322	3,458	3,002	2,198	2,298	2,265	2,329	2,272
LNG販売量													
	百万トン												
石油精製量	千b/d	1,594	1,504	1,601	1,507	1,622	1,644	1,650	1,480	1,512	1,378	1,518	1,364
製油所能力	千b/d	1,751	1,637	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	2,832	2,963	2,498	2,853	2,993	2,978	2,819	3,003	3,047	2,981	2,846	3,156
損益計算書													
売上高	百万ドル	137,361	205,829	26,191	31,818	36,724	42,628	46,920	56,070	54,731	48,108	42,294	40,329
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	7,565	-2,487	4,667	3,116	-2,544	2,326	-20,384	9,257	-2,163	10,803	8,218	1,792
貸借対照表													
流動資産	百万ドル	92,590	107,688	78,117	86,753	90,476	92,590	120,131	126,800	108,440	107,688	99,258	95,314
固定資産	百万ドル	194,682	180,432	191,808	197,333	196,060	194,682	175,381	172,333	175,042	180,432	179,403	180,753
総資産	百万ドル	287,272	288,120	269,925	284,086	286,536	287,272	295,512	299,133	283,482	288,120	278,661	276,067
流動負債	百万ドル	80,287	99,018	60,715	70,570	78,112	80,287	101,185	109,507	104,142	99,018	84,587	81,465
固定負債	百万ドル	118,481	108,159	121,106	122,770	121,044	118,481	117,865	109,986	107,872	108,159	108,802	110,861
有利子負債	百万ドル	62,923	49,046	67,997	70,072	64,976	62,923	62,343	54,601	48,402	49,046	50,755	52,203
純資産	百万ドル	88,504	80,943	88,104	90,746	87,380	88,504	76,462	79,640	71,468	80,943	85,272	83,741
キャッシュフロー													
事業CF	百万ドル	23,612	40,932	6,109	5,411	5,976	6,116	8,210	10,863	8,288	13,571	7,622	6,293
設備投資	百万ドル	12,848	16,330	3,798	2,514	2,903	3,633	2,929	2,838	3,194	7,369	3,625	4,314
フリーCF	百万ドル	17,719	45,100	6,428	4,036	920	6,335	8,606	15,200	1,116	20,178	11,383	5,493
時価総額	百万ドル	87,583	102,956	82,365	88,240	91,812	87,583	95,677	90,359	87,911	102,956	111,708	100,585
従業員数	人	65,900	67,600	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:決算資料及び EvaluateEnergy に基づき JOGMEC 作成

4. Chevron

2023 年第 2 四半期の決算は 63 億ドルの事業キャッシュフローを創出し、純利益は 60 億ドル、前期 66 億ドルにくらべて減少、また 2022 年第 2 四半期 116 億ドルに比べ大幅減となった。理由は、原油・ガス価格の下落と精製マージンの縮小である。

2023 年第 2 四半期の設備投資額は、前年同期の 40 億ドルから 20%増の 48 億ドル、主に上流部門における投資拡大である。上流部門の投資額は、前年同期 28 億ドルから 39%増の 39 億ドルに引き上げたが、下流部門は前年同期 11 億ドルから 27%減の 8 億ドルに削減した。

2023 年第 2 四半期のフリーキャッシュフローは 60 億ドル、前期の 64 億ドル、2022 年第 2 四半期の 78 億ドルにくらべて減少であった。今期の株主還元は、配当総額 28 億ドル(1.51ドル/株)、自社株買い 43.75 億ドルの総額 72 億ドルで前期よりも増強された。今期の株主還元額はフリーキャッシュフローを上回る水準となり手元資金の取り崩しを行うものの、Chevron の説明では、その残高は経営に必要な水準をはるかに上回る水準だと強調する。また、同社の使用資本利益率(ROCE)は 8 四半期連続で 12%超の 13.4%と高い水準であった。

今期の石油天然ガスの石油換算生産量は日量 295.9 万バレル、前期日量 297.8 万バレルとほぼ同水準であり、これは 2022 年第 2 四半期の日量 289.6 万バレルの 2%増であった。これらは、米国の Permian での増産が寄与した一方で、Gorgon ガス田やメキシコ湾での計画的な生産停止、またカナダ

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

の山林火災によるガスの生産減少が響いた。

上流事業の業績としては、カザフスタンの Tengiz 油田の拡張事業 FGP-WPMP (The integrated Future Growth Project – Wellhead Pressure Management Project) が順調に進展し第 2 四半期にプレ操業を開始した。拡張計画 FGP-WPMP において、原油処理中に生産される硫化水素(サワーガス)をすべて再圧入して油層の圧力維持を図り、Tengiz 油田からの生産量をおおむね日量 26 万バレル増大させる計画である。本拡張事業が完了すると Tengiz 油田の Tengizchevroil (TCO、Chevron が 50% 権益を保有) は日量 100 万バレル以上の生産となり、Chevron の説明によれば、Brent 価格が 50 ドル/バレルの水準で推移しても 2025 年に 50 億ドルのフリーキャッシュフローをもたらすとされる。東地中海では、キプロスの Aphrodite ガス田で掘削した評価井から期待通りの予兆が得られ、また同国政府に対して開発コンセプトの提出を実施した。また Chevron は、イスラエルでは Leviathan ガス田に接続する第 3 パイプラインの能力を日量 12 億立方フィートから日量 14 億立方フィートに拡大する事業の最終投資決定を行った。

そのほか第 2 四半期の実績として、米国 Permian 生産量が前期の日量 72 万バレルから 5% の増加となる日量 77 万バレルに達し、また米国コロラド州のシェール開発事業者である PDC Energy を株式交換により 63 億ドルで取得することが合意され、8 月内の買収完了を目指していることも発表された¹²。豪州では、開発中の Gorgon Stage2 事業において天然ガスの生産が開始され、またアンゴラで生産操業中の Block0 鉱区に関して同国政府に 2050 年までの契約延長が承認されたことも発表された。その他、日本での地熱における先進的なパイロットテストの実施で合意した。

(高木)

表 4:2023 年第 2 四半期決算概要(Chevron)

	(決算期)	2021	2022	2021Q1	2021Q2	2021Q3	2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3	2022Q4	2023Q1	2023Q2
生産量													
石油	MMbbl/d	1,868	1,719	1,826	1,847	1,757	1,828	1,736	1,687	1,707	1,747	1,726	1,743
天然ガス	MMcf/d	7,290	7,677	7,770	7,671	7,660	7,736	7,947	7,253	7,920	7,588	7,517	7,295
合計	MMboe/d	3,083	2,999	3,121	3,126	3,034	3,117	3,060	2,896	3,027	3,011	2,979	2,959
LNG液化量	百万トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油精製量	千b/d	1,479	1,505	1,417	1,536	1,479	1,484	1,534	1,515	1,430	1,541	1,518	1,585
製油所能力	千b/d	1,804	1,779	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	2,454	2,614	2,317	2,441	2,574	2,483	2,544	2,547	2,685	2,677	2,712	2,748
損益計算書													
売上高	百万ドル	155,606	235,717	31,076	36,117	42,552	45,861	52,314	65,372	63,508	54,523	48,842	47,216
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	15,625	35,465	1,377	3,082	6,111	5,055	6,259	11,622	11,231	6,353	6,574	6,010
貸借対照表													
流動資産	百万ドル	33,738	50,343	30,433	32,973	32,137	33,738	44,709	51,188	51,503	50,343	48,351	42,790
固定資産	百万ドル	205,797	207,366	211,212	209,833	207,811	205,797	204,339	206,748	208,232	207,366	207,535	208,989
総資産	百万ドル	239,535	257,709	241,645	242,806	239,948	239,535	249,048	257,936	259,735	257,709	255,886	251,779
流動負債	百万ドル	26,791	34,208	27,480	28,147	25,188	26,791	31,203	39,121	36,883	34,208	33,735	29,847
固定負債	百万ドル	73,677	64,219	82,277	81,477	78,898	73,677	71,626	65,261	64,172	64,219	62,702	63,607
有利子負債	百万ドル	34,872	27,370	45,440	43,018	37,347	34,872	37,347	26,235	23,641	27,370	23,206	21,514
純資産	百万ドル	139,067	159,282	131,888	133,182	135,862	139,067	146,219	153,554	158,680	159,282	159,449	158,325
キャッシュフロー													
事業CF	百万ドル	29,187	49,600	4,196	6,954	8,579	9,458	8,055	13,800	15,267	12,500	7,205	6,300
設備投資	百万ドル	11,720	18,524	2,504	2,786	2,770	3,660	2,757	6,785	3,939	5,043	3,907	3,757
フリーCF	百万ドル	25,563	36,900	3,755	5,646	8,341	7,821	7,564	7,800	10,917	8,000	6,442	6,000
時価総額	百万ドル	162,582	277,806	202,041	202,558	195,564	226,463	319,931	283,397	277,806	343,762	309,060	0
従業員数	人	42,595	43,846	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

5. TotalEnergies

TotalEnergies の 2023 年第 2 四半期決算は、資源価格下落の影響を受けつつも、99 億ドルの事業キャッシュフローを創出、フリーキャッシュフローは 38 億ドルとなった。今期においては、41 億ドルの純利益(前期は 56 億ドル)を達成した。また、2023 年第 2 回の中間配当について前年より 7.25%引き上げ、0.74 ユーロ/株とするほか、2023 年第 3 四半期に 20 億ドルの自社株買いを実施し、株主への還元を進めることを発表した¹³。

今期の石油換算生産量は日量 247.1 万バレルとなり、前期の日量 252.4 万バレルに比べ 2.1%の減少となった。Novatek の株式を持分法適用外とし、当該埋蔵量及び生産量の計上を取りやめたことによる減少要因を除いては、前年比で 2%の増加となった。主な要因は、ナイジェリアにおける Ikike 事業及びブラジルにおける Mero 1 事業からの生産増加のほか、ノルウェーの Johan Sverdrup Phase 2 の生産増加、オマーン Block 10 における天然ガスの生産開始が寄与している。

今期における石油・天然ガス上流事業の進捗としては、以下が挙げられる。新たな油ガス田の開発や、新規探鉱区取得など、今後の供給増加に寄与することが期待できる新たな事業を積極的に展開している。

- 4 月 5 日:イラクにおける Gas Growth Integrated Project(GGIP)を推進するため、Basrah Oil Company の 30%権益を取得し、TotalEnergies が 45%、Basrah Oil Company が 30%、QatarEnergy が 25%の事業権益を保有することとなった。GGIP は、イラクにおける天然ガス開発を促進し、同国の電力供給を改善する目的で 2021 年 9 月に発足。新たなパートナー体制で、TotalEnergies はパートナーとともにおよそ 100 億ドルを投じ、3 ガス田からのフレアガス回収と発電所への供給のほか、海水淡水化施設の建設により油田の増産に必要な圧入水の確保を目指す¹⁴。
- 4 月 27 日:TotalEnergies が子会社を通じてカナダで保有するオイルサンド資産の売却について、55 億カナダドル(およそ 41 億ドル)と特定条件が充足された場合に追加で 6 億カナダドル(4.5 億ドル)を受領することで Suncor Energy Inc.と合意した¹⁵。
- 5 月 2 日:アンゴラにおいて、Block 20 及び 21 における Cameia 及び Golfinho 油田の開発に係る覚書(HoA)を同国国営会社の Sonangol と締結、最終投資決定は 2023 年に予定される¹⁶。
- 5 月 15 日:スリナムにおいて、新たに Block 6 及び 8 の鉱区権益に係る生産物分与契約を同国国営会社と締結。同鉱区は、TotalEnergies がオペレーターを務め複数の既発見構造がある Block 58 に隣接しており、Block 6 及び 8 においても同様の探鉱成果が期待される。TotalEnergies は 2020-2021 年のスリナム浅海鉱区入札に 40%権益を保有するオペレーターと

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

して応札、他に QatarEnergy が 20%、国営企業である Staatsolie の子会社 Paradise Oil Company が 40%を保有する¹⁷。

- 5月27日:カナダにおけるオイルサンドの資産の売却(4月27日発表)について、売却対象の Surmont 資産の 50%権益に対して、パートナーの ConocoPhillips が先買権を行使し取得すると発表。TotalEnergies は 40.3 億カナダドル(およそ 30 億ドル)と特定条件が充足された場合に追加で 4.4 億カナダドル(3.25 億ドル)を受領することで ConocoPhillips と合意した¹⁸。
- 5月29日:ナイジェリアにおいて、OML130 大水深ライセンスを 20 年間延長。同鉱区はナイジェリアの沖合およそ 150 キロメートルに位置し、Akpo (2009 年生産開始)及び Egina (2018 年生産開始)油ガス田を有する。2022 年の生産量は日量 28.2 万石油換算バレルで、ガス生産の 30%を Nigeria LNG に供給する。2023 年中には、Akpo West 構造からの追加生産開始を予定。TotalEnergies は 24%権益を保有するオペレーターであり、このほか CNOOC (45%)、Sapetro (15%)、Prime 130 (16%)が参画し、ナイジェリア国営石油会社(NNPC)が利権者として参加する¹⁹。
- 5月31日:ブラジルにおいて、国家石油庁が 2022 年 12 月に実施した生産物分与制度下における鉱区入札を通じ、パートナーである Petrobras (30%)、QatarEnergy (20%)及び Petronas ブラジル法人(2%)とともに 30%権益を取得し、Agua Marinha 鉱区に係る生産物分与契約を締結²⁰。
- 6月13日:ナイジェリア OML102 鉱区において掘削した Ntokon-1AX 坑井において、ネットペイ層厚 38 メートルの石油層、同 15 メートルのガス層を発見。サイドトラックの Ntokon-1G1 坑井において、ネットペイ層厚 73 メートルの良好な貯留層を発見し、生産テストでは最大日量 5,000 バレル、API 比重 40 の原油産出に成功した。今後、既存生産施設にタイバックし生産を行う計画。同鉱区は TotalEnergies が 40%権益を保有するオペレーター、残り 60%を NNPC が保有する²¹。

LNG 事業関連においては、6月14日に米国の LNG 生産事業者である NextDecade 及び Global Infrastructure Partners (GIP)とフレームワーク契約 (framework agreement)を締結し、米国テキサス州南部における Rio Grande LNG (RGLNG)の開発に参画すると発表した²²。本契約及び最終的な文書作成並びに最終投資決定(7月13日に発表済²³)を条件に、TotalEnergies は以下の権利を取得する。

- RGLNG 第 1 フェーズ(液化系統 3 系列、液化能力年 1,750 万トン)の事業権益 16.7%
- 第 1 フェーズから供給される LNG のうち年 540 万トンのオフテイク権

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright (C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

- NextDecade 株式の 17.5%を 3 回に分割し総額 2.19 億ドルで取得する権利(初回分 5.06%は 4,000 万ドルで 6 月 13 日に取得済)
- RGLNG 追加フェーズ及び RGLNG における排出削減のために NextDecade が計画する二酸化炭素回収・貯留(CCS)事業への参加権

低炭素エネルギー関連では、5 月 24 日にフィンランドに本拠を置く新興企業 Ductor の株式 20%を取得したと発表。同社は、通常バイオメタン生産に使用するのが難しい鶏糞などの高窒素有機廃棄物を処理する革新的な技術を開発している²⁴。また 5 月 31 日には、米国の Tree Energy Solutions (TES) と提携して、再生可能な水素と二酸化炭素から生成される合成ガスである e-天然ガスの大規模生産装置に係る研究開発開始を発表した²⁵。6 月 19 日には、パリ航空ショーの開催に合わせ持続可能航空燃料(SAF)の生産見通しを発表。2028 年までに日量 50 万バレルの製造能力を備えることで、欧州における SAF 混合比率の段階的な引き上げ(2030 年 6%)を十分にカバーできる体制を整える²⁶。

CCS については、6 月 26 日に、東南アジアにおける CCS プロジェクトを開発することを目指し、Petronas 及び三井物産株式会社との契約の締結を発表。パートナーは、塩水帯水層と枯渇した海洋田の両方を含む、マレー盆地のいくつかの二酸化炭素貯留サイトを評価する予定である²⁷。Petronas 及び同社の再生可能エネルギー事業を手掛ける Gentari Renewables との間では、同日、戦略的協力協定(Strategic Collaboration Agreement)を締結。アジア太平洋地域における再生可能エネルギー事業の開発で更なる協力を行い、これを通じた同地域のエネルギーtransition促進を目的とする²⁸。

再生可能エネルギー事業の関係では、スペイン当局(エネルギー移行自治省)から、およそ 3 ギガワットの太陽光発電設備に対して良好な環境影響評価を取得したと 5 月 22 日に発表。同社がスペインで計画する 48 か所が対象に含まれ、一部は 2024 年初から稼働を開始する予定である²⁹。また、6 月 9 日には、カザフスタンにおける Mirny 事業における電力購入契約(PPA)に署名し、信頼性の高い電力供給を実現するために、600 メガワット時のバッテリーエネルギー貯蔵システムと組み合わせた 1 ギガワットの大規模陸上風力発電所を建設することを目的としている。カザフスタンにおいてこのような大規模風力発電事業に関して締結された初の PPA となった³⁰。

また、5 月 24 日には、自社の事業に関連するメタン排出量を特定、定量化し、削減するという取り組みの一環として、コロラド州立大学との提携を発表。メタン排出量測定の適格性を確認するための国際プロトコルを開発している³¹。

(鏝田)

表 5:2023 年第 2 四半期決算概要(TotalEnergies)

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright (C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

	(決算期)	2020	2021	2022	2021Q1	2021Q2	2021Q3	2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3	2022Q4	2023Q1	2023Q2
生産量														
石油	MBbl/d	1,543	1,500	1,519	1,508	1,464	1,517	1,509	1,527	1,483	1,494	1,570	1,562	1,571
天然ガス	MMcf/d	7,246	7,203	6,759	7,400	7,017	7,070	7,328	7,162	6,835	6,367	6,681	5,191	4,845
合計	MBoe/d	2,871	2,819	2,765	2,863	2,747	2,814	2,852	2,843	2,738	2,669	2,812	2,524	2,471
LNG液化量	百万トン	17.6	17.5	17.0	4.4	4.2	4.3	4.6	4.3	4.1	4.0	4.4	4.0	3.6
石油精製量	千b/d	1,292	1,181	1,472	1,147	1,070	1,225	1,279	1,317	1,575	1,599	1,389	1,403	1,472
製油所能力	千b/d	1,967	1,793	1,792	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	3,410	3,581	3,891	3,422	3,475	3,568	3,791	3,701	4,176	3,982	3,706	3,875	3,892
損益計算書														
売上高	百万ドル	140,685	205,863	263,310	43,737	47,049	54,729	60,348	68,606	74,774	69,037	63,953	58,233	51,534
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	-7,242	16,032	20,526	3,344	2,206	4,645	5,837	4,944	5,692	6,626	3,264	5,557	4,088
貸借対照表														
流動資産	百万ドル	79,679	111,136	111,136	83,314	87,442	112,947	111,136	146,979	155,915	174,042	125,724	111,255	104,797
固定資産	百万ドル	186,453	182,322	182,322	185,844	185,265	182,733	182,322	177,600	177,491	175,673	178,140	181,777	176,222
総資産	百万ドル	266,132	293,458	293,458	269,158	272,707	295,680	293,458	324,579	333,406	349,715	303,864	293,032	281,019
流動負債	百万ドル	64,676	95,102	95,102	70,008	75,183	96,909	95,102	122,638	128,658	147,228	109,778	97,263	89,736
固定負債	百万ドル	97,754	86,620	86,620	89,855	89,428	88,755	86,620	85,461	88,060	84,666	82,362	80,188	77,601
有利子負債	百万ドル	69,566	64,547	64,547	73,012	69,314	67,281	64,547	64,798	62,871	61,822	60,766	60,799	55,969
純資産	百万ドル	103,702	111,736	111,736	109,295	108,096	110,016	111,736	116,480	116,688	117,821	111,724	115,581	113,682
キャッシュフロー														
営業CF	百万ドル	14,803	30,410	47,367	5,598	7,551	5,640	11,621	7,617	16,284	17,848	5,618	5,133	9,900
設備投資	百万ドル	15,534	16,589	19,802	4,836	3,532	3,027	5,194	3,787	5,646	5,797	4,572	6,900	4,777
フリーCF	百万ドル	4,800	17,245	25,460	3,617	4,081	4,989	4,558	6,421	6,809	6,439	5,791	3,249	3,790
時価総額	百万ドル	113,988	131,754	155,425	122,784	119,937	127,068	131,754	132,798	135,468	118,628	155,425	145,134	139,076
従業員数	人	105,476	101,309	101,310	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:決算資料及び EvaluateEnergy に基づき JOGMEC 作成

6. まとめ

今期の Brent 原油価格は、期中平均で 78.1 ドル/バレルと、前期の 81.2 ドル/バレルから 3.8% 下落したほか、前年同期の期中平均である 113.9 ドル/バレルと比較して 30% 以上低い水準となった。また、天然ガス価格についても、米国 Henry Hub 価格は今期中平均で 2.1 ドル/MMBtu (前期の 3.4 ドル/MMBtu から 38% 低下) となった。前年同期は、ロシアによるウクライナ侵攻が発生した直後であり、石油供給の途絶懸念が発生し原油価格が高値で推移したほか、ロシア産パイプラインガスを代替する動きが欧州を中心に活発になり、LNG 調達への需要を高めたことも、世界的にガス価格の高騰を招いた。

資源価格の高騰により例外的な高収益を記録した 2022 年第 3 四半期以降、原油及び天然ガス価格の下落がみられ、各社の収益を押し下げる要因となった。また、夏場の需要期を前に製油所の定期修繕を実施したり、上流生産設備のメンテナンスに伴い生産を停止したりといった事情により、季節要因から稼働率が低下した側面もあるとみられる。

こうした状況下においても、各社は堅調な決算を記録したと認識している。Shell のワエル・サワン CEO は、「コモディティ価格が低調な環境ながら、Shell は強力なパフォーマンスとキャッシュフローを第 2 四半期に実現した」とプレスリリースで述べ、bp のバーナード・ルーニー CEO は、「我々は強靱な事業運営と財務パフォーマンスを実現した」と語るなど、これまで取り組んできたポートフォリオの入れ替えや財務規律の重視などにより、今期の決算は資源価格の下落に比べその影響は抑制できたとの見方を示した。ExxonMobil のダレン・ウッズ CEO は、財務面では、組織構造のスリム化等のコスト削減を実施し

Global Disclaimer (免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構（以下「機構」）が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright (C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

2023 年は 2019 年比で 90 億ドルのコスト削減目標のうち、すでに累積 83 億ドルの削減を達成したと発表し、コスト構造の改善に取り組んでいることを強調している。

各社とも、前期に比べ純利益は減じたものの、配当と自社株買いの継続により、株主への還元を重視する姿勢は変わらない。Shell は前期と比べ 15% の増配となる 0.331 ドル/株で配当を行うとともに、2023 年第 3 四半期中に追加で少なくとも 25 億ドルの自社株買いを実施する旨、発表。bp も、前期から 10% 増となる 7.27 セント/株で配当を行うとともに、今期には 21 億ドルの自社株買いを実施した。TotalEnergies についても、2023 年第 2 回の中間配当について前年より 7.25% 引き上げ、0.74 ユーロ/株とするほか、2023 年第 3 四半期に 20 億ドルの自社株買いを実施し、株主への還元を進めることを発表した。

財務基盤の強化と株主還元の充実という共通した方向性はあるが、各社の事業戦略には違いが見られる。欧州系企業は中期的な石油・天然ガス追加埋蔵量及び生産量確保のため、既存資産の周辺における追加開発・生産事業への投資決定のほか、特に TotalEnergies についてはスリナム及びブラジルにおける新たな生産物分与契約を相次いで締結するなど、新規探鉱への投資も積極的に行っている。また同社は、米国テキサス州南部における RGLNG の開発に参画すると発表した。他方米国系企業は、国内及びコアエリアを中心に投資を行う手堅い戦略を継続している印象である。その中でも ExxonMobil は、EOR 事業及び CO2 管理を専門とする米国企業 Denbury を全株式取得により買収することで合意したと発表。米国メキシコ湾岸の CCS 拠点と CO2 輸送及び貯留に関する知見を獲得し、CCS 事業基盤の確立を目指しているとみられる。

表 6:各社生産量・純利益・設備投資額の比較(2023 年第 2 四半期決算)

		石油・ガス生産量 (万 boe/d)	純利益 (億ドル)	設備投資額 (億ドル)
ExxonMobil(米)	前年同期	373.2	178.5	46.1
	前期	383.1	114.3	63.8
	2023Q2	360.8	78.8	61.7
Shell (英)	前年同期	289.9	180.4	70.2
	前期	290.2	87.1	65.0
	2023Q2	273.1	31.3	51.3
bp (英)	前年同期	219.8	92.6	28.4
	前期	232.9	82.2	36.3
	2023Q2	227.2	17.9	43.1
Chevron (米)	前年同期	289.6	116.2	67.9
	前期	297.9	65.7	39.1
	2023Q2	295.9	60.1	37.6
TotalEnergies (仏)	前年同期	273.8	56.9	56.5
	前期	252.4	55.6	69.0
	2023Q2	247.1	40.9	47.8

出所:決算資料及び EvaluateEnergy に基づき JOGMEC 作成

国際通貨基金(IMF)が 7 月 25 日に最新の世界経済見通し(WEO)を公表し、2023 年の世界国内総

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示してくださいようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

生産(GDP)成長率予測を4月時点の2.8%から3.0%に上方修正した。金融部門の混乱による経済成長への影響は後退したものの、インフレ対策のための中央銀行の政策金利の引き上げは引き続き経済活動の重しとなっており、依然として過去の経済成長水準と比較して弱いとIMFは指摘する。2024年の世界経済成長見通しも3.0%で推移し、インフレ率は2022年の8.7%から2023年は6.8%、2024年には5.2%へと、鈍化していくとみられる³²。

こうした世界経済成長見通しを背景に、2023年第3四半期以降の原油価格は、(1)中国経済の回復期待とこれに伴う石油需要の伸びが市場で認識されること、(2)OPECプラスが4月2日に開催した共同閣僚監視委員会(JMMC)により、5月から2023年末までの間、合計で日量115.7万バレルの減産に合意したことに加え、ロシアが実施する日量50万バレルの自主減産を2023年末まで延長すると発表し、これらを合わせた減産幅はおよそ日量166万バレルとなるほか、(3)サウジアラビアが7月より自主的に実施している日量100万バレルの追加減産を8月についても実施する旨報じられた³³こと等により、特に2023年後半にかけて需給引き締め感が醸成され、原油価格はWTIで70ドル/バレルを下回る場面が見えにくくなるとみられる。他方、(4)主要中央銀行による金融政策の引き締めの継続や、中国経済の回復が想定を下回る状況が継続すれば、原油価格に下方圧力を加えることも想定される。

また、天然ガス価格については、欧州において昨冬が暖冬であったため、地下ガス貯蔵量は過去平年を上回る水準で推移しているほか、政策当局者の適時の呼びかけにより天然ガス需要を抑制したことから、比較的低位水準で推移している。しかし、2023年のガス市場の見通しの改善は、将来の価格ボラティリティが軽減されるという保証ではなく、潜在的なリスクを回避するための対策を怠るべきではない。世界のガス供給は2023年も引き続き逼迫する見通しであり、世界の天然ガス需給バランスは広範囲にわたる夏の干ばつや熱波、2023/2024年冬季の気温や寒波の襲来、そしてロシア産パイプラインガス供給のさらなる減少などの不確実性にさらされている³⁴。よって、資源価格に下支えされ、各社の次期四半期決算は今期と同様に推移する蓋然性が高いと考えられる。

(鑑田)

(この報告は2023年8月4日時点のものです)

¹ ExxonMobil, ExxonMobil Guyana Advances Fifth Offshore Guyana Development, <https://investor.exxonmobil.com/news-events/press-releases/detail/1142/exxonmobil-guyana-advances-fifth-offshore-guyana-development> 2023年8月1日閲覧

² ExxonMobil, ExxonMobil to build lubricant manufacturing plant in India https://corporate.exxonmobil.com/locations/india/newsroom/03312023_exxonmobil-to-build-lubricant-manufacturing-plant-in-india 2023年8月1日閲覧

³ ExxonMobil, ExxonMobil Announces Acquisition of Denbury, <https://investor.exxonmobil.com/news->

[events/press-releases/detail/1144/exxonmobil-announces-acquisition-of-denbury](https://www.exxonmobil.com/press-releases/detail/1144/exxonmobil-announces-acquisition-of-denbury) 2023年8月1日閲覧

⁴ ExxonMobil, ExxonMobil signs carbon capture agreement with Nucor Corporation, reaching 5 MTA milestone, https://corporate.exxonmobil.com/news/news-releases/2023/0601_lcs-nucor-agreement 2023年8月1日閲覧

⁵ Shell, Second quarter 2023 results – July 27, 2023, <https://www.shell.com/investors/results-and-reporting/quarterly-results/latest-results.html> 2023年8月2日閲覧

⁶ Shell, Shell completes restart of operations at the Pierce Field in the UK North Sea after major redevelopment to enable gas production, <https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2023/shell-completes-restart-of-operations-at-the-pierce-field-in-the-uk-north-sea-after-major-redevelopment-to-enable-gas-production.html> 2023年8月2日閲覧

⁷ Shell, Shell to deliver more value with less emissions, <https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2023/shell-to-deliver-more-value-with-less-emissions.html> 2023年8月2日閲覧

⁸ bp, bp's second quarter 2023 results, <https://www.bp.com/en/global/corporate/investors/results-reporting-and-presentations/quarterly-results-and-webcast.html> 2023年8月2日閲覧

⁹ bp, bp starts oil production at Argos platform in the Gulf of Mexico, <https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/bp-starts-oil-production-at-argos-platform-in-the-gulf-of-mexico.html> 2023年8月2日閲覧

¹⁰ bp, Reliance and bp commence production from third deepwater field in India's KG D6 block, <https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/reliance-and-bp-commence-production-from-third-deepwater-field-in-indias-kg-d6-block.html> 2023年8月2日閲覧

¹¹ bp, bp invests €7.5 m in EV charging service provider Service4Charger as part of a €10 m Series A funding round, <https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/bp-invests-7-5-m-in-ev-charging-service-provider-service4charger-as-part-of-a-10-m-series-a-funding-round.html> 2023年8月2日閲覧

¹² Chevron, chevron announces agreement to acquire PDC energy, <https://www.chevron.com/newsroom/2023/q2/chevron-announces-agreement-to-acquire-pdc-energy> 2023年8月1日閲覧

¹³ TotalEnergies, TotalEnergies' Second Quarter and First Half 2023 Results, Thursday, July 27, 2023, <https://totalenergies.com/investors/results-reports> 2023年8月2日閲覧

¹⁴ TotalEnergies, Iraq: Agreement between Iraq and TotalEnergies, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/iraq-agreement-between-iraq-and-totalenergies> 2023年8月2日閲覧

¹⁵ TotalEnergies, Canada: TotalEnergies accepts an offer from Suncor for its oil sands assets, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/canada-totalenergies-accepts-offer-suncor-its-oil-sands-assets> 2023年8月2日閲覧

¹⁶ TotalEnergies, Angola: A New Milestone Towards the Development of Blocks 20 and 21, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/angola-new-milestone-towards-development-blocks-20-and-21> 2023年8月2日閲覧

Global Disclaimer (免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構（以下「機構」）が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright (C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

-
- ¹⁷ TotalEnergies, Suriname: TotalEnergies increases its presence and signs Production Sharing Contracts for shallow offshore Blocks 6 and 8, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/suriname-totalenergies-increases-its-presence> 2023年8月2日閲覧
- ¹⁸ TotalEnergies, TotalEnergies to sell its 50% stake in Surmont oil sands asset to ConocoPhillips following exercise of its preemption right, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/totalenergies-sell-its-50-stake-surmont-oil-sands-asset-conocophillips> 2023年8月2日閲覧
- ¹⁹ TotalEnergies, Nigeria: TotalEnergies renews the OML130 deep offshore license, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/nigeria-totalenergies-renews-oml130-deep-offshore-license> 2023年8月2日閲覧
- ²⁰ TotalEnergies, Brazil: TotalEnergies signs Production Sharing Contract for the Agua Marinha offshore block, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/brazil-totalenergies-signs-production-sharing-contract-agua-marinha> 2023年8月2日閲覧
- ²¹ TotalEnergies, Nigeria: TotalEnergies makes oil and gas discovery in offshore OML 102, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/nigeria-totalenergies-makes-oil-and-gas-discovery-offshore-oml-102> 2023年8月2日閲覧
- ²² TotalEnergies, United States: TotalEnergies Strengthens its Position in LNG by Partnering with GIP and NextDecade on a new LNG project in Texas, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/united-states-totalenergies-strengthens-its-position-lng-partnering-gip> 2023年8月2日閲覧
- ²³ TotalEnergies, United States: TotalEnergies and its Partners Make the Final Investment Decision of the RGLNG Project in Texas, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/united-states-totalenergies-and-its-partners-make-final-investment> 2023年8月2日閲覧
- ²⁴ TotalEnergies, Biogas: TotalEnergies acquires a stake in Ductor to jointly develop new projects using its innovative technology, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/biogas-totalenergies-acquires-stake-ductor-jointly-develop-new-projects> 2023年8月2日閲覧
- ²⁵ TotalEnergies, United States: TotalEnergies and TES Join Forces to Develop a Large-Scale e-NG Production Unit, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/united-states-totalenergies-and-tes-join-forces-develop-large-scale-e-ng> 2023年8月2日閲覧
- ²⁶ TotalEnergies, Paris Air Show: TotalEnergies Committed to the Production of Sustainable Aviation Fuel to Meet Its Aviation Customers' Needs, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/paris-air-show-totalenergies-committed-production-sustainable-aviation> 2023年8月2日閲覧
- ²⁷ TotalEnergies, TotalEnergies partners with Petronas and Mitsui on a Carbon Storage hub in Malaysia, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/totalenergies-partners-petronas-and-mitsui-carbon-storage-hub-malaysia> 2023年8月2日閲覧
- ²⁸ TotalEnergies, Energy transition & Renewables: TotalEnergies partners with Petronas in Asia-Pacific, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/energy-transition-renewables-totalenergies-partners-petronas-asia-pacific> 2023年8月2日閲覧
- ²⁹ TotalEnergies, Spain: TotalEnergies Obtains Favorable Environmental Impact Assessment for 3 GW of Solar Projects, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/spain-totalenergies-obtains-favorable-environmental-impact-assessment-3> 2023年8月2日閲覧

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

³⁰ TotalEnergies, Kazakhstan: TotalEnergies signs a 25-year PPA for a 1 GW Wind Project, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/kazakhstan-totalenergies-signs-25-year-ppa-1-gw-wind-project> 2023年8月2日閲覧

³¹ TotalEnergies, Methane Emissions Reduction: TotalEnergies and Colorado State University collaborate to establish a protocol of qualification for methane measurement technologies, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/methane-emissions-reduction-totalenergies-and-colorado-state-university> 2023年8月2日閲覧

³² IMF, The global recovery is slowing amid widening divergences among economic sectors and regions, <https://www.imf.org/en/Publications/WEO/Issues/2023/07/10/world-economic-outlook-update-july-2023> 2023年8月2日閲覧

³³ Reuters, Saudi Arabia, Russia deepen oil cuts, sending prices higher, <https://www.reuters.com/business/energy/saudi-arabia-will-extend-voluntary-cut-1-million-bpd-august-spa-2023-07-03/> 2023年8月2日閲覧

³⁴ IEA, Gas Market Report, Q2-2023, <https://iea.blob.core.windows.net/assets/6f2f0dcc-72af-4c01-bcc7-fbfe690ab521/GasMarketReportQ22023.pdf> 2023年8月2日閲覧

Global Disclaimer (免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構（以下「機構」）が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright (C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.